平成24年度 石狩市教育委員会会議（2月定例会）会議録

平成25年2月13日（水）
第2委員会室

開会 午後 1時30分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
委員長 中村 照 男	○		
委員 土井 久美子	○		
委員 門馬 富士子	○		
委員 松尾 拓也	○		
教育長 鎌田 英暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百井 宏己
生涯学習部次長	柴口 史子
総務企画課長	上田 均
学校教育課長	蛭谷 学俊
社会教育課長	東 信也
文化財課長	工藤 義衛
厚田生涯学習課長	池垣 旬
浜益生涯学習課長	尾崎 巧
教育支援センター長	西田 正人
特別支援教育担当課長	森 朋代
市民図書館副館長	板谷 英郁
学校給食センター長	伊藤 和哉
総務企画課総務企画担当主任主査	吉田 雅人
総務企画課総務企画担当主査	高石 康弘
教育支援センター長	西田 正人
教育支援センター就学指導担当主査	川畑 昌博
社会教育課長社会教育担当主査	樋口 潤作

議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 議案審議

議案第1号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について

議案第2号 平成24年度一般会計補正予算（第5号補正）について

議案第3号 平成25年度教育行政執行方針について

議案第4号 平成25年度一般会計予算について

議案第5号 教職員の処分の内申について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

① 平成24年度いじめ実態把握調査結果について

② 体罰に係る実態把握について

③ 平成24年度花川南小学校における「あい風寺子屋教室」実施状況について

日程第5 その他

① 第25回石狩市公民館まつりにについて

日程第6 次回定例会の開催日程

開会宣告

（中村委員長）ただいまから、平成24年度教育委員会会議2月定例会を開会します。

日程第1 会議録署名委員の指名

（中村委員長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、松尾委員にお願いします。

日程第 2 議案審議

(中村委員長) 日程第 2 議案審議を議題とします。

議案第 1 号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について

(中村委員長) 議案第 1 号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第 1 号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について、奨学生の選定に当たりまして、支給条件の確認をするために必要な書類、あるいは前年度に引き続いて奨学金を志願する者が提出すべき書類の取扱いについて、志願者の手続上の負担を軽減するために、所要の改正を行おうとするものですので、よろしくご審議をお願いいたします。詳細については、事務局から願います。

(蛭谷課長) 議案第 1 号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について、説明します。ただいま、教育長からも説明がありましたが、支給条件の確認をするために必要な書類について追加すること、また、前年度に引き続いて奨学金支給を志願する者が提出すべき書類の取扱いについて、所要の改正を行おうとするものですが、今回の改正については、志願者の利便性、事務手続上の負担を軽減することを一つの念頭として行っています。それでは、改正内容について、順次説明します。資料の 1 頁、2 頁をご覧ください。先ず、願書を出すに当たって添付すべき書類ですが、第 3 条の改正になりますが、在学の証明に関して、現行の規定では、「合格通知書」を定めていますが、この合格通知書は、再発行されないため、一度紛失してしまうとこれを証明する手立てがないことから、志願者の利便性を考慮し、随時発行可能な在学証明書を追加するものです。次に、奨学金の支給要件として、経済的条件、「学資に乏しいこと」が条例の第 2 条第 2 号に規定されています。このため、それを証明する書類の提出を新たに記載しています。なお、継続して石狩市に居住している場合は、本人の同意書に基づき、市の税務所管に照会をして、所得を調べるのが可能です。このような場合は、同意書の提出をもって学資要件に該当することを証明するために求められる所得に関する証明書の添付を省略することができることとし、応募者の手続上の負担を軽減することを予定しています。また、前年度に引き続き奨学金を志願する者に対する成績に関する証明書について、添付すべき書類の中には、過去 3 年間の学業成績証明書があります。ただ、前年度に奨学金の支給を受けていた者が、引き続き応募する場合には、その奨学生は、支給年度の学業成績について報告を上げること

となっております。その奨学生については、引き続き翌年度に応募する際には、過去3カ年というのは、結果として書類提出が済んでいますので、あえて提出する必要はない。また、前年度に奨学生には選考されなかったが、応募していた者については、前年度の応募の際に成績証明書を出していますので、引き続き応募する段階では、直近、過去1年間分の学業成績証明書を出すだけで良いとし、これらによって応募者の手続上の負担を軽減するため、第3条ただし書きとして「教育委員会が特に認める場合は、当該書類の一部について添付を省略することができる。」としたところです。また、上級学校進学者に対する校長の推薦状の提出について、改正前の第3条第3項及び第4項のこれらの規定については、志願者の推薦状の提出に当たり、どの学校の校長の推薦状を提出するかを規定しているところです。上級学校進学者が願書を提出する際に求められる校長の推薦状について、4月に進学したばかりの志願者については、現実的に進学した直後の学校の校長が推薦するというのは、困難であることから、当該上級学校を除いて直近在学した学校の校長の推薦状を添付することとする。これは、願書の受付期間が、規則において3月25日から4月30日までとされていることから、3月中に願書を出した者については、当然、直近在学した学校の校長しか該当しないのですが、4月に入ってしまうと、進学したばかりの学校の校長ということになりますので、その場合の不都合を解消するために規定するものです。改正前においては、第3項、第4項の2つの規定で推薦を受けるべき校長の規定をしていましたが、改正後では、第2項の一つにて規定しております。また、その他の規定の整備として、第18条の改正ですが、休学、転学、退学などをした時や住所変更などにより届出を行う場合、在学する学校又は在学した学校の校長を経由して届出を行うこととなっておりますが、その学校の校長の範囲については、改正後の第3条第2項以降の規定と同様の文言に整理することとしました。また、改正前の第3条第2項を削除したことにより、当該規定内の志願者についての略省規定「(以下、志願者という。)」が、なくなることから、改正後の第2項に略称規定を設ける改正をします。改正後の規則は、公布の日から施行を予定しています。以上です。よろしくご審議をお願いします。

(中村委員長) ただいま、提案説明がありました議案第1号について、ご質問等ありませんか。

質疑応答

(松尾委員) 趣旨が、申請する方が重複して書類を用意しなければならないことなどをなくすということで、非常に大切なことだと思います。よろしく願います。これは、規則の改正とは直接関係はしないかもしれませんが、制度を使い

やすくするという中で、申請する人が、規則を見て、中身を読み取るのは結構大変だと思いますので、条文としてはよろしいのですが、申請を検討される方が分かりやすい周知をしていただけるとありがたいと思います。

(蛭谷課長) ご指摘のとおり、これは規則という形式なので、文言としては、独特の言い回しになっておりますが、実際市民の皆様にお伝えするに当たりましては、ホームページやカウンターに分かりやすいパンフレット、募集要項などを用意しておりますし、お問い合わせいただいた場合には、担当職員が親切、丁寧に説明するよう努めていきたいと存じます。

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第1号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第1号については、原案どおり可決しました。

議案第2号乃至議案第5号の審議を秘密会とする件について

(中村委員長) 議案第2号については、平成24年度一般会計補正予算(第5号補正)に関する件であります。

議案第3号については、平成25年度教育行政執行方針に関する件であります。

議案第4号については、平成25年度一般会計予算に関する件であります。

以上3議案については、いずれも石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第5号に該当します。

また、議案第5号については、教職員の処分の内申に関する件であり、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第1号に該当します。

以上4議案につきましては、秘密会として後ほど審議いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定しました。

日程第3 教育長報告

(中村委員長) 日程第3 教育長報告を議題とします。

(中村委員長) 教育長から報告をお願いします。

(鎌田教育長)

- 1月27日 第17回市民囲碁大会 (市教委後援) りんくる
6クラス99名参加
NPO法人石狩市文化協会新年交流会 茨戸ガーデン
- 1月31日 北海道教育委員会高橋教育長学校訪問 厚田中・浜益小
- 2月 1日 生振小学校第44回全国学生書道展受賞報告
団体奨励賞を受賞
- 2月 2日 第27回花川南地区少年少女意見発表会 南コミセン
主 催：花川南地区青少年健全育成協議会
発表者：小学生8名、中学生5名 計13名
- 2月 4日 管内教育委員会協議会教育長部会 道庁別館会議室
・教職員人事関係
・石狩教育局からの報告 (体罰実態調査について)
- 2月 6日 平成25年度当初人事に係る管理職 (校長・教頭) 異動協議
道教育局
臨時校長会 (体罰に係る実態調査について)
- 2月12日 伊藤花川南1条郵便局長 (前教育委員) からの図書寄贈

平成25年度石狩市教育委員会表彰の中の「児童生徒教育奨励賞」について、1月30日及び2月1日に各学校を訪問し、私が直接、受賞者本人に授与してまいりました。

以上で、報告を終わります。

(中村委員長) ただいま、教育長から報告がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(土井委員) 児童生徒教育奨励賞の受賞者本人に授与ということで、ご苦労様でした。その後、フットサルや女子サッカーなど、色々と嬉しい知らせが新聞を賑わしておりました。先ほど話のあった囲碁などもそうですが、石狩の子どもたちは、活躍しているということで、とても嬉しい思いをしています。

(鎌田教育長) 各方面で子どもたちは頑張っておりますので、何かの形で、できるだけ皆様にお知らせすることが必要だと思っています。

(中村委員長) 他に質問等がないようですので、教育長報告を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 報告事項

(中村委員長) 日程第4 報告事項を議題とします。

① 平成24年度いじめ実態把握調査結果について

(中村委員長) ①平成24年度いじめ実態把握調査結果について、事務局から説明をお願いします。

(西田センター長) 平成24年度いじめ実態把握調査結果について、報告します。資料の10頁をご覧ください。全道一斉に行うこの調査は、例年2回の調査となりますが、今年度は、6月に1回目を実施し、その後、文部科学省の緊急調査を8月に実施しました。3回目になりますが、同じ調査を11月に実施しましたので、その調査結果についてご報告します。まず、「いじめ把握のための児童生徒に対するアンケート」における調査結果についてです。記載はございませんが、この度のアンケート実施児童生徒数は、小学生3,451人、中学生1,612人の計5,063人でした。(1)4月から、11月のアンケート実施日までに、「いじめられたことがある」と答えた児童生徒数は、小学校254人、中学校56人の計310人となります。学年別内訳は、重複しますが、いじめの内容については、資料のとおりとなりますので、ご覧いただきたいと存じます。8月同様、300人を超えていますが、この度もアンケート実施前には、各小中学校において、子どもの状況を把握する良い機会と捉え、前回アンケート実施時と同様に、特に小学校低学年では、「些細なこと」でも、「いじめられたことがある」項目に○を

するように話してから実施しています。このことで、8割以上を占める小学生の「いじめられたことがある」と答える件数は増えていますが、子どもたちの状況をきめ細やかに把握し、初期段階での対応や指導をするチャンスであると捉えて実施されています。次に、(2)アンケート設問内における「その他」記載内容です。アンケート内には、「どんないじめをされましたか？」の設問があります。(1)の「いじめの内容」における項目で、アからカまでの項目があります。それぞれ、該当する項目に○をつけるようになっており、この「カ」の「その他」欄への記載された内容です。小学校では、「名前をわざと変な発音で言われた」、「馬鹿にされた」、「謝ってくれない」、「陰口を言われる」等で31件、中学校では、「嫌なことを無理やりやらされる」、「上靴にしつこくいたずらされる」、「嫌なことをさせられる」と記述した3件と、「その他」欄に○をつけながらも空白で記載をしないものが2件で、計5件でした。いずれも個別に事実関係も含め、聴き取りなどを行い、指導しています。次に、児童生徒へのアンケート調査後になりますが、「2. いじめ問題への対応状況」の調査についてです。(1)4月から12月までの間に学校が、いじめと認知した件数は、63件です。対応に関して、ご説明します。「いじめられたことがある」と答えた児童生徒に対して、これまでと同様に、ひとり一人から担任等が、聴き取りを行って、状況確認を行い、学校内で精査しています。場合によっては、当事者同士に対して、納得のいくように話し合いを行い、事実を整理して、解決策を一緒に考えるなどしています。また、ケースによっては、保護者にも連絡し、学校の様子や指導内容を説明し理解を得るとともに、家庭での生活について、協力を求めたりしています。さらに、アンケートとは別に、これまで担任や他の先生方から見て、いじめに当たるものや、本人や保護者からの訴えに対しても、事実確認を行い、校内で精査をして、報告いただいています。特に、個々の行為が、「いじめ」なのか、「けんか」なのかの判断は、児童生徒の仲間意識や人間関係の変化に留意しつつ、日頃の当該児童生徒の行動などを見極めたうえで、学級担任やその他の先生が話し合っ、判断しています。こうした対応を経て、いじめとして認めた件数が、小学校26件、中学校37件の計63件です。学年別内訳は、資料のとおりとなりますので、ご確認願います。特に小学校においては、「いじめられたことがある」と答えた254人の児童に対し、認知が26件となりますことから、子どもたちの状況をきめ細やかに把握し、初期段階で対応や指導をされたものと捉えています。4月から6月の実施時は、22件の認知件数でした。6月から8月の認知件数が24件であり、4月から8月までのトータルの認知件数は、46件と報告させていただきました。この度は、4月から11月までがトータル63件ということになりますので、8月から11月までは、17件の認知件数となります。また、重複しますが、認知した63件のいじめの態様については、「冷やかしかからかい」、「悪口や脅し文句」、「嫌なことを

言われる」が38件と一番多く、続いて「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたり」が13件となり、「その他」も含めてトータル79件となります。次に、(2)学校が認知したいじめの現在の状況についてです。63件中、「解消」は56件、「一定の解消が図られたが継続支援中」が5件、「解消に向けて取組中」が2件であります。今月に入りまして、該当校に再度確認したところ、継続支援中の5件については、いずれも解消しているとの報告をいただいています。従って、現在、2件が未だに解決に至らず、「解消に向けて取組中」とのことです。この2件は、共に同じ中学校のケースですが、学校としてチームを組み、取組を行っています。該当の生徒に関しては、コミュニケーション不足でなかなか人間関係がうまく築けないといったケースであることから、継続して十分な注意を払い、折に触れて必要な指導を行っていただくようお願いしているとともに、定期的な情報交換を行っています。今年度は、8月の文部科学省の緊急調査以降、臨時の教育委員会会議において、各委員から熱心なご議論を頂戴しながら、当面の取組として、指導方針の見直しや教職員対象の研修会等を実施しました。さらに、9月以降、3回にわたり、校長会、教頭会から代表者をご推薦いただき、「いじめ問題対策会議」を実施しました。現場の貴重なご意見を伺い、既に各学校でのいじめに関する学校体制等についての実態調査を実施し、丁寧な対応をされていることを改めて確認したところです。また、ご意見の中には、保護者へのアプローチもこれまで以上に必要ではないだろうかといったご意見もいただきました。こちらは、現在、新年度の取組事項として考えています。具体的には、保護者向けのチェックシートを作成して、全小中学校を通じ、保護者に配布できるよう取り進めていきたいと考えています。今後も学校と連携を密にしながら、いじめ問題に取り組んでまいります。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

(土井委員) 3点ほど伺います。1点目は、いじめ把握のためのアンケート調査の中で、いじめの内容の所です。オの「傷つく内容がメールだったり、インターネットに書き込まれたりする」が6件で、認知件数で3件ですが、少ないという印象で、中学校でまだインターネットなどにのめり込んでいる子が、それほどはいないのかなと、少し意外な感じがしていますが、この辺りの実態はどうかをお聞きします。2点目は、「解消に向けて取組中」が、まだ中学校に2件あり、その中学校と定期的な情報交換を行っているという話がありましたが、定期的情報交換の中で、実態や課題などをどのような状況だと聞いているのかお聞きします。3点目は、保護者へのアプローチをしていく中で、保護者に向けたチェックシ

トという話がありましたが、それは学校で集約するのですか。

(西田センター長) 1点目の、「いじめ認知件数のいじめ態様」の8「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる」について、3件がありますが、その中身について、若干触れさせていただきます。3件とも中学校ですが、1件は、女子ですが、本人の虚言癖についてのネットでの誹謗中傷で、学校での対応は、誹謗中傷について、学級全体にネットマナーを指導し、誹謗中傷の内容を削除したというものです。2件目ですが、こちらも中学生女子で、状況としては、数名によるメールでの嫌がらせがあったということで、対応については、相手の生徒たちと自らが話をして、お互いに話をした中で、自分たちで解決を図ったということです。当然、間には担任や生徒指導の先生が入って対応したということになります。3件目は、こちらも中学生女子ですが、インターネットの掲示板に悪口を書いたというもので、この対応については、書かれた生徒も本人に直接悪口を言うなどしており、双方に非があることから、双方に指導し、掲示板については、母親に連絡を入れ、家庭での指導をお願いし、削除したというような内容になっております。いずれにいたしましても、学校の中で解消と位置付けられています。次に、「現在も解消に向けて取組中」という中学校との情報交換中で聞いている状況についてですが、夏場ぐらいから、なかなか解決に向かわず、苦慮しているという案件で、数名の生徒が関わっておりますが、該当する生徒自身が先ず相手の嫌がる行為を行っていて、相手からも叩かれたりというようなことを繰り返しながら、面白がってからかわれたりというようなことです。加害生徒に対して直接指導し、その都度に謝罪なり、その後の様子を見るなどして、しばらく行為はない状態が続いたり、しばらくして、また行われたりということで、学校からは、保護者も含めての指導も大事だということで、保護者をお呼びして生徒の実態なども話し、家庭での協力を求めるなども繰り返してはいるのですが、なかなか、こちらの方も解決までには至らないということです。その都度の対応になるのですが、継続して見守っていて、場合によっては、TTをクラスに入れてしばらく様子を見ますという情報もいただいています。そのように情報交換をしています。3点目ですが、新年度に予定しています保護者へのアプローチとして、チェックシートを考えていますが、集計までは考えていません。春のゴールデンウィーク明けと秋の前期と後期の境目辺りに、是非家庭で気をつけていただきたいという項目をいくつか列記したものを、学校を通じ各家庭にお配りし、各家庭で子どもの様子を見ながらチェックしてみませんかというような問いかけにしたいと考えています。

(土井委員) 中学校全体で、携帯やネットでのいじめがないということは、私自身は救われた思いがします。これから、きっとこういうのは、多くなるという不安がありましたものですから質問させていただいたのです。保護者へのアプロー

チのチェックシートですが、大変良いことだと思います。よろしくお願いします。

(門馬委員)「解消に向けて取組中」の2件ですが、同じ中学校だという話でしたが、大変失礼な意地悪な質問ですが、その学校に問題があるということはないのですか。

(西田センター長)決して、学校の取組がということではなくて、学校としては、未然防止も然ることながら、起きている事象に関して、担任一人で行うのではなく、学校全体としてチームを組んでやるという基本的な姿勢に立った中で、対応しておりますし、支援センターでも、できるだけ協力させていただきながら解消に向けて取り組んでいきたいと考えております。以上です。

(門馬委員)一つの中学校で2つの未解決の案件を抱えているというのは、なかなか辛いことだろうと思いましたが、例えば、場合によっては、外部の専門家の意見をいただくなどの方法もあるのかなと思います。

(西田センター長)こちらの方には、スクールカウンセラーも一緒になってチームの中に入り、取り組んでいるということもご理解願いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(中村委員長)他にご質問がないようですので、報告事項の①については、了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長)ご異議なしと認め、報告事項の①を了解しました。

② 体罰に係る実態把握について

(中村委員長)②体罰に係る実態把握について、事務局から説明をお願いします。

(蛭谷課長)体罰に係る実態把握について、報告します。別冊の資料をご覧ください。文部科学省から都道府県教育委員会等への依頼ということで、今年の1月23日付けで「体罰の禁止の徹底及び体罰に係る実態把握について」という文書が出されています。この中で、各都道府県教育委員会等に対して、改めて体罰禁止の徹底とともに、体罰の実態について、文部科学省への報告を求めています。実態把握に係る報告については、その内容としては、体罰の実態等を把握し、体罰の発生件数等について報告することとされています。この際、教職員のみならず児童生徒や保護者への調査も併せて行うこととされています。調査の日程と報告項目については、別紙に体罰の実態把握にかかる報告要項の記載がありますが、

2回に分けて報告することとなっています。第1次報告の都道府県教育委員会の文部科学省への報告期限が、2月28日となっておりますが、市教委から教育局への報告期限は、今月の15日の設定となっています。第1次報告の中では、平成24年4月から平成25年1月までに発生したもので、体罰として既に認知されているものについて報告となっています。現段階において、市教委で該当項目は寄せられていません。続いて、第2次報告です。第2次報告では、新たに校長への質問、教職員への聴き取りを始め、保護者、児童生徒へのアンケートを行い、それらを踏まえ体罰の状況について報告することとなっています。2次報告について、都道府県教育委員会の文部科学省への報告期限が、4月30日となっておりますが、市教委から教育局への報告期限は、これよりも早く設定されることが想定されます。調査の具体的内容は、現在道教委にて検討中で、近々市教委からの報告期限を含めた第2次報告に関する通知が行われるものと考えているところです。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありました。この件についてご質問等ありませんか。

(中村委員長) 2点伺います。第1次、第2次と分けて報告が求められておりますが、まだ道教委から第2次の調査項目や具体的な取扱いが示されていない段階ですので、文科省から来ている調査票を踏まえて質問させていただきます。

1点目ですが、依頼文の中で、校長及び教員（以下「教員等」という）は、児童生徒への指導に当たり、いかなる場合においても身体に対する侵害（殴る・蹴る等）、肉体的苦痛を与える懲戒（正座・直立等特定の姿勢を長時間保持させる等）である体罰を行ってはならないこと。

また、教員等は部活動の指導に当たり、いわゆる勝利至上主義に偏り、体罰を厳しい指導と正当化することは誤りであるという認識を持たなければならないとし、体罰の禁止の周知徹底などを図るほか、教員等と児童生徒、保護者の信頼関係の構築に努めるとともに、児童生徒や保護者が、体罰の訴えや教員等との関係の悩みを相談できる体制を整備するよう求められております。

体罰の実態把握にかかる報告要領では、体罰の実態等を把握し、体罰の発生件数等について報告すること。この際、教職員のみならず児童生徒や保護者への調査も併せて行い、必要に応じて、個人情報取り扱いに配慮しつつ、外部の第三者に参画いただくなど、正確に把握するための工夫をすることとされております。

そこで伺いますが、この度の一連の報告に際して、体罰の実態等を正確に把握するため、外部の第三者に参画いただくなどの工夫について、どのような手法を講じようとしているのかお聞かせ下さい。

(蛭谷課長) 今回の新たな聴き取り、実態調査で寄せられた結果について、どのように客観的に判断していったら良いか、今、委員長がおっしゃられたとおり、こういった中で、必要に応じて有識者などの助言、または、スクールカウンセラーなどへの確認、そういった第三者を参画させるなどの方法については、今回文科省からの調査依頼の趣旨に則りまして、現在、道教委においてもその手法について検討しているとの情報は得ております。市教委としましては、先ず、近日中に示される予定の道教委からの調査依頼内容を把握し、適切に対応してまいりたいと考えております。

(中村委員長) 2点目ですが、少し切り口を変えて質問させていただきます。学校教育法第11条では、教員等は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童生徒に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。と規定されております。

また、平成19年2月5日に「問題行動を起こす児童生徒に対する指導について」という通知が出され、その別紙で、「学校教育法第11条に規定する児童生徒の懲戒・体罰に関する考え方」が示されており、有形力（目に見える物理的な力）の行使以外の方法により行われた懲戒については、例えば、①放課後等に教室に残留させる（用便のためにも室外に出ることを許さない、又は食事時間を過ぎても長く留め置く等、肉体的苦痛を与えるものは体罰に当たる）。②授業中、教室内に起立させる。③学習課題や清掃活動を課す。④学校当番を多く割り当てる。⑤立ち歩きの多い児童生徒を叱って席につかせる。などの行為は、児童生徒に肉体的苦痛を与えるものでない限り、通常体罰には当たらないとしています。

個々の懲戒が体罰に当たるか否かは、単に懲戒を受けた児童生徒や保護者の主観的な言動により判断されるのではなく、当該児童生徒の年齢・健康・心身の発達状況・当該行為が行われた場所及び時間的環境・懲戒の態様等の諸条件を総合的に考え、個々の事案毎に判断する必要があるとされております。

近年石狩市においても、部活動における体罰問題を巡り、学校への不信感などから、訴訟にまで発展したケースもあります。

そこで伺いますが、こうした経緯を踏まえ、この機会に、児童生徒や保護者が、体罰の訴えや教員等との関係の悩みを相談できる外部の第三者の参画による相談体制の構築に向け、検討を深めるべきと考えますが、所見をお聞かせ下さい。

(蛭谷課長) 学校に対する課題は、近年多様化しており、今回お尋ねの体罰に限らず、児童生徒や保護者が抱える学校への様々な課題や悩みについては、ご指摘のとおり、安心して相談ができる環境が必要であると認識しており、その体制の構築に向けて、今後検討すべき課題であると認識しております。

(中村委員長) 事件が起きてから、慌ただしく対応を迫られるということがないように、この機会にきちんと手を打つものは打って、不幸な事態に発展しないよ

うな教育行政が展開できればとの思いですので、よろしく取り組んでいただきたいと思います。

(中村委員長) 他にご質問等がないようですので、報告事項の②を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告事項の②を了解しました。

③ 平成24年度花川南小学校における「あい風寺子屋教室」実施状況について

(中村委員長) ③平成24年度花川南小学校における「あい風寺子屋教室」実施状況について、事務局から説明をお願いします。

(東課長) 平成24年度花川南小学校における「あい風寺子屋教室」実施状況について、説明します。資料は、11頁です。先ず、あい風寺子屋教室について、再度簡単に説明します。子どもの生活習慣への課題解消、居場所づくりということを目的に、社会教育委員の会議から提言を受け、平成23年度から実施したものです。具体的には、月曜日と金曜日の放課後を体験活動日と位置付け、地域の指導者による伝承遊びや工作・茶道などを実施したところです。昨年は、初年度ということで、7月から11月まで4ヶ月間実施し、2年目の今年については、通年実施とメニューの増を大きなテーマとして実施したところです。概略ですが、対象を小学1年から3年生、期間は、5月から開始し、年度末3月までの実施を予定しています。1月末現在で、35回実施しています。体験活動については、先ほども申しあげましたとおり、毎週月・金の実施です。なお、3月末までで合計41回の実施を予定しています。参加児童数実績は、1,672人で、1回当たり47人です。昨年については、平均値が53人ということですので、若干減ってはいるものの、概ね同様と理解しています。新たなメニューとして、英語の絵本を活用した「英語であそぼ」、青年会議所とタイアップした「提灯づくり」、「よさこい」、日本の伝統行事「七夕」、「リズムあそび」、また、町内会のボランティアの方にご指導いただきました「囲碁と将棋」、「生け花」などを実施したところです。このように通年実施については、見込みが立っており、新たなメニューの追加もできた状況です。また、PTA役員のお母さんが放課後の実施時に見守り役として、地元町内会の方が指導者として参加いただいているなど、広がりを見せつつあります。次に、新たな試行的取組として始めました、土曜日に実施

した「あい風寺子屋教室サタデー」、長期休業中に実施した「あい風寺子屋教室サマー・ウインター」について説明します。まず、あい風寺子屋教室サタデーですが、これまでの寺子屋教室は、平日の放課後、1年生から3年生が対象でしたので、高学年への対応ができていなかったことに併せて、学習場所の提供などを目的に、土曜日の午前中3時間、学校で学習と体験活動を実施するものです。対象は、4年から6年生、月1回の土曜日、午前9時から正午までということで、内容は、1日の日程3時間の内、前半1時間半を学習、後半1時間半を体験活動に充てているものです。具体的な活動は、ご覧のとおりです。流れとして、最初に図書室で読書をしてもらい、教室に戻って、算数・国語のプリント学習に取り組んでもらいます。この部分については、退職の先生方にご指導をお願いしています。それぞれ、30分ずつのコマ3つで1時間半になります。後半については、体験活動となります。表の1回目、6月16日は、長縄跳びということで最初に行いました。2回目は、徳田先生に講師になっていただき、カラーキャンドルづくり、3回目は、勾玉づくりで、資料館ボランティアをお願いしております。4回目は、地域食堂きずなの先生をお招きして、お団子お汁粉づくり、5回目は、ボールやフラフープを使ったコーディネーション運動、6回目は、外遊びということで、グラウンドでキックゴルフを体験していただいています。内容の工夫を凝らしながら実施しているところではありますが、残念ながら記載のとおり平均参加人数は、一桁と厳しい状況にあります。次に、長期休業中に実施したあい風寺子屋教室サマー・ウインターですが、低学年については、平日2時間弱の体験ということですので、長時間にわたるもの、また、広い場所という視点の活動を行いました。高学年は、サタデーと同様に学習を行って見たころです。表のナンバーの1と2が寺子屋サマーで、3と4がウインターです。低学年は、ティーボールの実施で、高学年については、市が取組を進めています「カローリング」の体験を行っていただきました。低学年では、一定の参加をいただいています。高学年では、こちらも一桁という厳しい状況にあります。サタデーの実施と併せまして、学校や保護者など関係者から意見聴取を行った上で、より多くの参加が得られるよう新年度に向け、対策を検討していきたいと考えています。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありました。この件についてご質問等ありませんか。

(松尾委員) 1点目、これは、花川南小学校だけで行っているものなのかということ、2点目ですが、説明にありましたように低学年と高学年でかなり参加人数に違いがありますので、その辺の理由などについては、把握しているところがあればお聞かせ願います。

(東課長) 最初に、花川南小学校だけかという点ですが、モデル的にこの1校だけで実施しています。2点目の参加に大きく差があることの要因分析ですが、実は、このサタデーの取組を行うに当たり、昨年度中にアンケートを行い、3から6年生の保護者にアンケートした結果として、約4割の保護者の方から「是非参加をさせたい」と回答をいただきましたので、一定の参加が期待できるということで、118人の回答のうち、45人から「参加させたい」と回答をいただいたものですから、1学級強の参加が期待できるのでは、という発想のもとで予定を立てた訳です。残念ながら、蓋を開けてみますと、調理実習の13人を最高にして、この状況という結果です。これを受け、今年度の11月に改めて、いかがでしょうかと、周知されているかという点と、内容面で問題があるでしょうか、ということでのアンケートをさせていただきました。「活動を行っていることを知っている」という回答は、約4分の3、75%がご存知であるということ、もう一つは、内容については、「現状のままで良い」という回答が、3分の2程度あったということで、保護者の皆様からは、一定のご理解と内容面について、このままで良いといただいているとアンケートからは読み取れました。後は、子どもたちに魅力のあるものにしていかなければならない、そのためには、学校に聞くであるとか、例えば、工作や調理の関係は、子どもさんが参加しやすいものだと聞いておりますので、そのような物がどこまでできるかということも含めて考えていきたいと思っています。

(松尾委員) 何故、2つお聞きしたかと申しますと、きっと、そこの部分の参加者が、こうしたら増えていくのかなという道筋が見えてくると、他の所にも波及していけると考え得るのかなという意味で質問させていただきました。非常に大切なことだと思いますので是非頑張ってくださいと思います。

(土井委員) 食育の観点から言って、この13人の参加のところ、子どもたちが自分で作るのだというところをもう少し広めていただきたいと思います。もう少し回数を増やすといいかなと思います。また、サマー、ウインターとかサタデーもそうなのですが、人数が少ないということで、保護者への周知はどのように行っているのですか。多分、学校経由でやっていると思うのですが、保護者や地域の方はあまり見ないのですよね。

(東課長) 先ず、食育の観点からメニューの部分で、調理を含めて検討したいと思いますが、口に入る部分については、色々な条件もありますので、慎重にということもありますが、先ほども申し上げましたとおり、この部分は、子どもたちの興味のある所でもありますので、課題はありますが可能な限り取り組んでいくよう検討したいと存じます。周知ですが、先ほどのアンケートの回答では、当然と言えば当然なのですが、ほとんどの方から、内容は知っているとお返事をいただいております。具体的にどう周知しているかといいますと、学級ごとに1枚ず

つきちんと渡るように印刷して、学校にお渡しをしています。届いていないということはないと思いますが、学校からのお便りも多いということもありますので、そういう意味では、埋もれているということも無きにしも、とは思っています。ただ、ここは学校と上手くタグを組みながら色々な場面で周知を徹底し、さらに一人でも多くの子どもさんに体験していただけるよう努めていきたいと考えています。簡単には打開策を得られないとは存じますが、地道に少しずつ広げたいと思っています。

(中村委員長) 他にご質問がないようですので、報告事項の③を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告事項の③を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第4 報告事項を終了します。

日程第5 その他

(中村委員長) 次に、日程第5 その他を議題といたします。事務局からございませんか。

① 第25回石狩市公民館まつりについて

(東課長) 第25回石狩市公民館まつりのご案内をさせていただきます。3月16・17日の土曜・日曜日で、「広げよう交流の輪」をテーマに開催を予定しています。裏面に参加サークルと発表内容を記載しております。今年は、特に石狩大谷子供劇団「碧い海」が初参加ということもあり、ステージについても充実しております。委員の皆様におかれましては、ご多用と存じますが、時間を見つけていただき、足を運びいただければと存じます。改めまして、2月24日に「今親として」というタイトルで家庭教育の講演会をお示しさせていただきましたので、そちらの方もお時間ございましたら是非お越しいただきたいと存じます。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありました。この件についてご質問等ありませんか。

(門馬委員) 公民館まつりの16・17日辺りというのは、雪が解けて、入り口の足元が非常に悪いです。毎年、びしょびしょで、じゃぶじゃぶなのですよね。何とかならないのでしょうか。「是非お越し下さいと言っても、足が汚れるから行きたくないです」という声も聞かれるのです。玄関までのアプローチを何とか、ようこそお越しくださいという足元にしていただけないのでしょうか。

(東課長) 先ずは、お詫びをさせていただきたいと思います。若干、水はけということでは、3年くらい前になろうかと思いますが、水が流れるような装置を付けた経緯があります。水溜りのでき難さという部分で多少は、改善できたのではと思っています。先ず、3月16・17日というのが、1年間の学習成果の発表ということで実施していることがございますので、時期については、実行委員会の議論を経て、この時期となっております。後は、どのように足元をという部分ですが、入り口付近については、板を渡すなど若干の工夫をし、最終的にこちらに上がっていただく部分では、何とかなる形は心がけているのですが、駐車場については、地面自体が低いということがありまして、本当にご不便をかけているというのが実態です。できる限りのことは、させていただきましても、本当に申し訳なく思っていますし、この部分は、ご了承を賜るしかないのかなという風には思っています。今後どうするのかについても、なかなか直ぐにはお答えできない状況かなとも思います。大変申し訳ありません。

(門馬委員) この16・17日の日程は、動かし難いのだというお話でしたが、本当に不可能なのですか。例えば、もう少し足元が良くなってからやろうとか。あるいは、今の時期でしたら、まだ足元がきれいですよね。実は、行政評価委員会の時にも「小さなことなのですが、何とかならないのですか」と意見がありまして、本当かなと思っていたのですが、昨年行ってみたら本当にひどいのですね。ですので、一緒に行きましょうって言うのが気の毒なくらいなのです。

(土井委員) 卒業式もこの辺りなのですが、大体、雨が降ったり、天気が悪いですね。今、お話を聞きますと、公民館活動の発表の場ということですよ。他に12月にも発表の場があつて、コーラスとか吹奏楽とか、そう考えると、3月9日とか10日とか辺りでは駄目なのですか。この時期は、卒業式などもあつて結構忙しい時期でもあるのですよね。

(東課長) 実際、実行委員会の中で、この議論をした時に、私自身も足元の悪さも含め、実施時期について提案をさせていただいた経緯もあります。参加団体の中で農家関係の方がいらっしやいまして、具体的には、加工系といいますか、味噌ですとかを作っている団体もいらっしやいます。そう考えると、味噌づくりは

まさに今の時期ということがありまして、学習活動を地域でやっている方の発表する場としては、それが終わった後でなければ、なかなかできない、9月・10月であれば農繁期であるということも含めて、参加しづらいということもありまして、3月のこの時期が、実行委員会の中で何回か議論を経た中で、この形になりまして、足元の部分は本当に駄目だとお叱りを受けながらも、全体の参加者の中からは、そうなっている実態があります。日程に関して言いますと、議論を経て動いているとご理解賜りたいと存じます。

(中村委員長) 他にご質問がないようですので、その他の①を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の①を了解しました。

② 不審者に関する状況等について

(西田センター長) ここ数日に相次いでいる不審者の実態と市教委・市の取組・対応について、説明します。年が明けまして、この1月から4件の不審者情報が寄せられています。概略を申しますと、1件目が、1月29日夕方4時45分頃に、花川南6条4丁目、花川南小学校の前ですが、小学校4年生の男子児童が友達の所から、家への帰り道につきまとわれたというものです。本人は、走って自宅に逃げ込んだのですが、追いかけてきた男が家の周りでキョロキョロ探すような素振りをしていたという件です。また、1月31日夜9時10分頃、花川南2条6丁目の花川南第2アカシア公園付近で、女子高校生が帰宅途中で不審な男から顔や足に危害を加えられ、けがをしたというものです。この女子高校生は、その場から逃げて帰宅し、警察に通報しているというものです。それから、今月に入りまして、2月2日夜6時30分頃、樽川3条2丁目付近で、中学1年生の女子生徒が帰宅途中で顔を殴られ携帯電話を奪われたということです。また、先週の金曜日、2月8日朝8時頃、小学5年生の児童が登校途中で殴られたという事件で、不審者がすれ違いざまに児童の顔を右手で殴り逃げ去ったというものです。殴られた子どもの状況ですが、殴られて、その後直ぐ学校に駆け込みまして、警察の方に連絡したということです。けがの状況については、殴られた所は、腫れていないということで、警察の事情聴取の後で病院に行き、診断書ももらっているということです。その後、今日も学校に来ておりますし、特段外傷的には問題ないということで聞いております。市教委としては、2月4日付け教育長名で、

市内の各小中学校に対して「不審者の対応について」ということで、不審者情報を再度載せたことも含め、下校時などは、まとまって帰宅するように、特に中学生については、部活動などの帰りには特に注意するようという内容を盛り込み、子どもたちの注意喚起をしたところでした。2月8日の朝の児童の傷害事件については、既に警察の方に連絡していますが、ここ数件に及ぶ不審者の続出ということもあります。あくまでも推測ですが、身長が170cm、年齢が30歳ぐらい、服装が黒の上下、白の軍手をはめているという共通しているところがありますことから、市教委及び市としましても、今後の対応を話し合い、先週の金曜日からパトロールを開始しています。予定としては、当面、今週いっぱいまで毎日、子どもたちの登下校の時間に併せてパトロールをするということです。既に9日からの3連休がありましたが、こちらの方も教育委員会として3日間とも午後になりましたが、パトロールを済ませています。また、任意ですけれども、市の方で行っているパトロール以外に、百井部長と私で、朝の登校時間に併せ、石狩手稲線沿いの通学路を両方向から見守りをするということで、こちらの方も当面続けるという対応をしている状況です。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありました。この件についてご質問等ありませんか。

(土井委員) 本当にパトロールお疲れ様です。早く捕まればいいと思いますが、3連休でも教育委員会がパトロール、そして、今でも百井部長と西田センター長が行っているのですか。車でのパトロールですか。

(西田センター長) いえ、歩いて行っています。

(土井委員) 歩いてですか。手稲街道、南線と樽川の辺りですね。

(西田センター長) 樽川中学校方面から、部長が歩いて、私は南線小学校の方から歩いて行く、そして交差して、またお互いという方法で実施しています。また、併せて、要所に第一町内会のスクールガードの方々が出ているらしいです。そういった方々との話し合い、コミュニケーションも取りながら、子どもたちの様子も見ながら、生活道路の方にも目を配りながら歩いています。

(百井部長) 改めて、現場を拝見し、学校の先生はもとより、忙しい中、通学路の重要なポイントを絞ってもらい、立っていただいて、PTAもパトロールという札をつけて歩いていたり、交通安全という旗を交差点で振っていただいている方もいて、いくつかの種類の方が立っていただき、さらには、町内会の方も高齢の方も含め、本当に地域あげてやっていただいているのだと改めて拝見してきましたので、ご報告に代えさせていただきます。

(中村委員長) 他にご質問等がないようですので、その他の②を了解ということによろしいですか。

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の②を了解しました。

③ 石狩市教育委員会表彰受章者特別展示について

(上田課長) 石狩市教育委員会表彰受章者特別展示について、報告します。先月1月25日に平成24年度の教育委員会表彰式を開催しましたが、昨年、初めての試みとして、受章された方や団体を紹介するという展示を市民図書館で開催しました。良い企画であるにご評価いただいたこともあり、今年度も受章者を紹介する展示を予定しております。時期は、3月19日火曜日から24日まで、開館日としては、5日間になりますが、市民図書館のエントランスホールに受章者のプロフィールや競技に使う用具や所縁の物、写真などを展示して受章者の功労功績をご紹介しようとするものです。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

(中村委員長) ご質問等がないようですので、その他の③を了解ということによろしいですか。

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の③を了解しました。

(中村委員長) 委員の皆さんからございませんか。

(松尾委員) 自分が罹ったから聞くわけではないのですが、インフルエンザが流行っているようですけれども、学校の方に影響などないかお聞かせいただければと思います。

(蛭谷課長) インフルエンザ罹患の状況ですが、やはり1月に入りまして、実は私もインフルエンザにかかったのですが、学校でも各クラス数名ずつの罹患があるものの、現段階では学級閉鎖にはなっていません。しかし、まだ3月いっぱいまでは気を抜けませんので、学校では、うがい、手洗いなど徹底してやっていたと思っていますが、状況を注視してまいります。

(中村委員長) 他にございませんか。

なし

(中村委員長) 以上で、日程第5 その他を終了します。

日程第6 次回定例会の開催日程について

(中村委員長) 日程第6 次回定例会の開催日程を議題とします。

(中村委員長) 次回定例会については、3月28日の木曜日、13時30分からの開催を予定しております。よろしくお願い申し上げます。

(中村委員長) 以上をもちまして、公開案件は終了します。秘密会案件の説明員以外の方は、ご退席願います。

【秘密会】

(中村委員長) ただいまから、教育委員会会議規則第15条に基づき、秘密会を開催いたします。

(中村委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第2号 平成24年度一般会計補正予算(第5号補正)について(秘密会)

(中村委員長) 議案第2号 平成24年度一般会計補正予算(第5号補正)について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第2号 平成24年度一般会計補正予算(第5号補正)について、平成25年第1回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4号の規定に基づき議決を求めるものであります。今回の補正については、年度末を控え各事業において、執行残等、今後不要となる予算について所要の措置を講ずるものです。よろしくご審議願います。詳細については、事務局から説明をお願いします。

(上田課長) 議案第2号により説明。

(中村委員長) ただいま提案説明がありました議案第2号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第2号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第2号については、原案どおり可決しました。

議案第3号 平成25年度教育行政執行方針について(秘密会)

(中村委員長) 議案第3号 平成25年度教育行政執行方針について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第3号 平成25年度教育行政執行方針について、平成25年第1回石狩市議会定例会の開会にあたり、教育行政の基本的な考え方と施策の概要を申し述べるため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第1号の規定に基づき議決を求めるものであります。具体的内容につきましては、事務局から報告をお願いします。

(百井部長) 議案第3号の資料により説明。

(中村委員長) ただいま提案説明がありました議案第3号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第3号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第3号については、原案どおり可決しました。

議案第4号 平成25年度一般会計予算について(秘密会)

(中村委員長) 議案第4号 平成25年度一般会計予算について提案願います。

(鎌田教育長) 議案第4号 平成25年度一般会計予算について、平成25年第1回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4号の規定に基づき議決を求めるものです。具体的内容については、事務局から報告をお願いします。

(百井部長) 議案第4号により説明。

(中村委員長) ただいま提案説明がありました議案第4号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第4号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第4号については、原案どおり可決しました。

議案第5号 教職員の処分の内申について(秘密会)

(中村委員長) 議案第5号 教職員の処分の内申について提案願います。

(鎌田教育長) 議案第5号 教職員の処分の内申について、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第7号の規定に基づき議決を求めるものです。具体的内容につきましては、事務局から報告をお願いします。

(蛭谷課長) 別紙資料により説明。

(中村委員長) ただいま提案説明がありました議案第5号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので議案第5号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第5号については、原案どおり可決しました。

(中村委員長) 以上で、日程第2 議案審議を終了します。

閉会宣告

(中村委員長) 以上をもちまして、2月定例会の案件は全て終了いたしました。以上で、平成24年度教育委員会会議2月定例会を閉会いたします。

閉 会 午後 4時22分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成25年 3月21日

委員長 中村 照 男

署名委員 松尾 拓 也